

2024年生コンクリート価格改定の背景及び 東関東生コン協同組合の現状について

1、生コンクリートの価格改定（18-18-20N）について

- 1) 定 価：生コン1㎡あたり21,000円
- 2) 実施期日：2024年4月1日 契約分より
- 3) 改定理由：

原材料費、生コン輸送費並びに産業廃棄物処理費は、2023年8月に原材料等価格動向調査（回答率78.9%）を実施した結果、粗骨材・細骨材・生コン輸送費・産業廃棄物処理費の4項目において、略1,000円/㎡の価格上昇となった。また、電力費、修繕費、労働条件の改善費用等も従前に比べ1.2～1.5倍となっており、生コン生産に大きな影響を及ぼしているとの結果が併せて報告された。

項 目		金 額	備 考
アンケート結果	細骨材	362	
	粗骨材	345	
	生コン輸送	249	
	産業廃棄物処理	32	
上記4項目計		988	
その他コストアップ要因		1,000～1,500	電力費、修繕費及び労働条件の改善費用
合 計		略2,000	円/㎡

【協組概要】

2、積算関係推移（18-18-20N）

年 月	2021 10月時点	2022 03月	2022 05月	2022 08月	2022 11月	2023 01月	2023 10月	2023 11月
積算資料	12,300	12,800	→	13,100	→	16,100	18,300	→
建設物価	12,500	→	12,800	→	16,000	→	→	18,300

3、出荷推移

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 予算
出 荷 量 (千m ³)	364	397	426	371	364	289	360
年度未契残 (千m ³)	307	277	263	352	206	357	—

4、2023年度出荷実績

- ① 上期出荷量は179.5千㎡と上伸した。年初予算360千㎡は達成するものと思われる。
- ② 2023年9月末契約残は364.6千㎡（前年比109%）と堅調に推移している。（B契番42%、C契番29%）

月	4	5	6	7	8	9	上期計	
実績	21,690	23,593	36,712	34,516	31,518	31,487	179,515	前年比 120%
月	10	11	12	1	2	3	下期計	
実績								
想定	32,000	31,000	31,000	28,000	29,000	33,000	184,000	

注1、数量：m³

5、骨材・セメント価格の推移

骨材 単位：円/m ³		積算資料（経済調査会）										
		19/03	19/04	20/11	21/11	22/04	22/07	22/08	22/12	23/04	23/07	23/10
粗骨材	17区	4,200	4,350	4,650	→	4,950	→	→	→	5,100	→	→
2005	6区	4,100	4,250	→	4,400	4,550	→	4,700	→	→	→	→
細骨材	17区	4,500	4,650	4,950	→	5,250	→	→	→	5,400	→	→
砕砂	6区	4,400	4,550	→	4,700	4,850	→	5,000	→	→	→	→
細骨材	17区	4,850	5,350	→	→	5,500	→	→	5,650	→	→	5,850
粗目	6区	4,850	5,350	→	→	5,500	→	→	5,650	→	→	5,850
細骨材	17区	4,550	4,850	→	→	5,000	→	→	5,150	→	→	5,250
細目	6区	4,550	4,850	→	→	5,000	→	→	5,150	→	→	5,250
人工軽骨	東京	13,350	→	→	→	→	15,350	→	→	→	16,350	→

骨材 単位：円/m ³		建設物価（建設物価調査会）								
		19/03	19/04	19/08	20/05	22/06	22/08	22/12	23/07	23/10
粗骨材	17区	4,150	→	4,350	4,550	4,850	→	5,050	→	5,350
2005	6区	4,050	→	4,250	4,450	4,750	→	4,950	→	5,250
細骨材	17区	4,450	→	4,650	4,850	5,150	→	5,350	→	5,650
砕砂	6区	4,350	→	4,550	4,750	5,050	→	5,250	→	5,550
細骨材	17区	4,600	4,750	→	→	5,150	→	→	→	5,450
粗目	6区	4,500	4,650	→	→	5,050	→	→	→	5,350
細骨材	17区	4,300	4,450	→	→	4,650	→	→	→	4,950
細目	6区	4,200	4,350	→	→	4,550	→	→	→	4,850
人工軽骨	東京	13,350	→	→	→	→	15,350	→	19,350	→

セメント 単位：円/トン	22/05	22/06	22/11	23/06	23/07
積算資料	10,800	11,800	12,800	13,800	15,800
建設物価	11,000	12,000	13,000	16,000	→

6、組合員のアジテータ車輛（自社+固定）保有台数推移

① 前回調査に比べ総計は 36 台の増車となった。

調査年月		15/02	18/04	20/02	22/01	23/06
大型	緑	332	363	377	306	362
	白	86	116	82	116	100
中型	緑	30	5	5	7	2
小型	白	43	48	51	50	51
合計	緑	362	368	382	313	364
	白	129	164	133	166	151
台数	総計	491	532	515	479	515

7、アジテータ車輛保有台数 2023 年 6 月調査に基づく運搬能力

- ① 運搬能力は 1 日当たり 1,340m³、月当たり 29,480m³となる。
- ② 固定（自社+庸車）では対応できない場合、よりコストの高いスポット庸車を使用することとなる。
- ③ 出荷状況によっては、安定納入に支障を来すことも想定される。従って、予定の精度向上（=運行効率の改善）が不可欠となる。

展開率：適用前				：適用後	
アジテータ車台数（自社+固定庸車）				運搬能力	運搬能力
大型車	中型車	小型車	合計	m ³ /日	m ³ /日
462	33	20	515	6,698	1,340

注 1、展開率：当協組に対する組合員工場の出荷展開（展開率 20%として） 注 2、積載量（m³）：大型 4.5、中型 3.75、小型 1.5

注 3、車輛回数：3 回/日 注 4、1 箇月当たりの運搬能力：22 日稼働

8、納入予定キャンセルの発生推移

① 2023 年 4~9 月実績=6 件、1,316 m³、0.73%

年度	2018		2019		2020		2021		2022	
出荷予定	件数	数量	件数	数量	件数	数量	件数	数量	件数	数量
キャンセル	11	2,290	5	961	5	851	26	4,267	23	2,982
		0.58%		0.23%		0.23%		1.17%		1.03%

注 1、数量：m³

9、残コン・戻りコンの発生推移

- ① 生コン工場のカーボンニュートラルに向けた重要な対策としてこの削減は極めて重要と考えており、残コン有償化を 2023 年 6 月 1 日から実施した。
- ② 2023 年 4~9 月実績=残コン：1,953 m³、1.1% 戻りコン：767 m³、0.4% 合計：2,720 m³、1.5%

年度	2018		2019		2020		2021		2022	
残コン・戻りコン	数量	率	数量	率	数量	率	数量	率	数量	率
残コン	4,211	1.1	5,497	1.3	5,551	1.5	5,799	1.6	4,203	1.5
戻りコン	743	0.2	973	0.2	980	0.3	1,397	0.4	899	0.3
合計	4,954	1.3	6,469	1.5	6,531	1.8	7,195	2.0	5,101	1.8

注1、数量：m³、率：%

◎現在検討を進めている事項について

- 1、完全週休二日制に向けた取り組み
- 2、車輛の貸し借りを円滑にするための取り組み

以上